

2月の月一レターです。 (緊急事態宣言中の2月20日)

昨秋癌で逝った父親(俳人・黛執氏)を偲び、俳人の黛まどか氏が2月6日の夕刊のコラムに、「最愛の父と、尊敬する俳句の師と、長年の第一読者を同時に失った」。「父の部屋には北窓がある…その小窓を開ける度に、父の言葉が甦る。『北窓は景色が南向きで暖かいから、いいものだよ』。辛い気持ちを号泣しながらぶちまけた(と書いてあった)先生がまどか氏に「無理に前を向く必要はない。悲しみと共に歩んでいけばいい。いつか必ず何かを見出すだろう…」と。ご自身を鼓舞して「春が立った。私もそろそろ心の北窓を開けて、明るく暖かい景色を招き入れないといけない」。

【北窓開く】は俳句の春の季語。春になって寒風を防ぐため閉ざしていた北窓を開けることをいうそうです。

月一家は特にコロナ禍の生活になって、毎朝少しの間、空気の入替えに細く開けていた北窓。これを読んで、北窓を大きく開けてみました。冷たい風と一緒に飛び込んできた景色は、成る程…。冬枯れの田んぼやその向こうに見える農家の家々は、これから始まる季節の営みを感じるような暖かい陽ざしに優しく照らされていました。まだ冷たい空気を浴びながら思わず両手を上げて背伸びをウウ〜ンツ。月一の心の空気の入替えもできたような気がしました。

コロナ禍。先日10年前の余震という大きな地震もあり、辛く苦しい状況に追い込まれた人が多くなりました。心模様は人それぞれ。人に気持ちをぶちまくもよし。もったかつこ悪く迷いに迷うもよし。ウウ〜ンツと背伸びして気を晴らせるのは人に助けられ、その通過点があってこそ、月一の今があります。



テレビから、ワクチン接種が始まったというニュースが流れています。本当の春はまだ少し先になるだろうけど、少し春がみえてきた…。

家族会の窓はいつでも開いています。春と一緒に。

<コンボ情報>

●〜●〜●〜●〜●〜●〜●〜●〜●〜●

◎ いよいよ来週から!「こころの元気+電子版」2021年2月15日(月)スタート!

2月号から、「こころの元気+電子版」がネットでも読めるようになります!

☆「こころの元気+電子版」のご案内ページ https://www.comhbo.net/?page_id=27864

☆「こころの元気+電子版」は、一部賛助会員限定となります。

=====

◎ コンボの活動にご支援、ご協力をお願いします

【賛助会員として】… 会費は1年間6,000円です

☆賛助会員のお申込みはこちらから → https://www.comhbo.net/?page_id=190

【書籍・DVD等の購入を通じて】

《書籍の紹介》 https://www.comhbo.net/?page_id=2537

《DVDの紹介》 https://www.comhbo.net/?page_id=2298

《電子書籍の紹介》 https://www.comhbo.net/?page_id=13458

【寄付を通じて】

☆コンボのホームページ(寄付のお願い) https://www.comhbo.net/?page_id=182

☆CANPAN 決済サービスのページ (クレジットカード決済、コンビニ支払いに対応)

<https://kessai.canpan.info/org/comhbo/>

※賛助会員申込み、書籍・DVD等のご注文、ご寄付はお電話・ファックス・郵送でもお受けします。